

安心して子育てが出来る まちづくりを目指して

チーム名：ハンドシェイク 谷村、久保田、松宮、山田

目次

01. 現状分析

02. 課題と目標設定

03. 政策提案

湖南市の強みと弱み

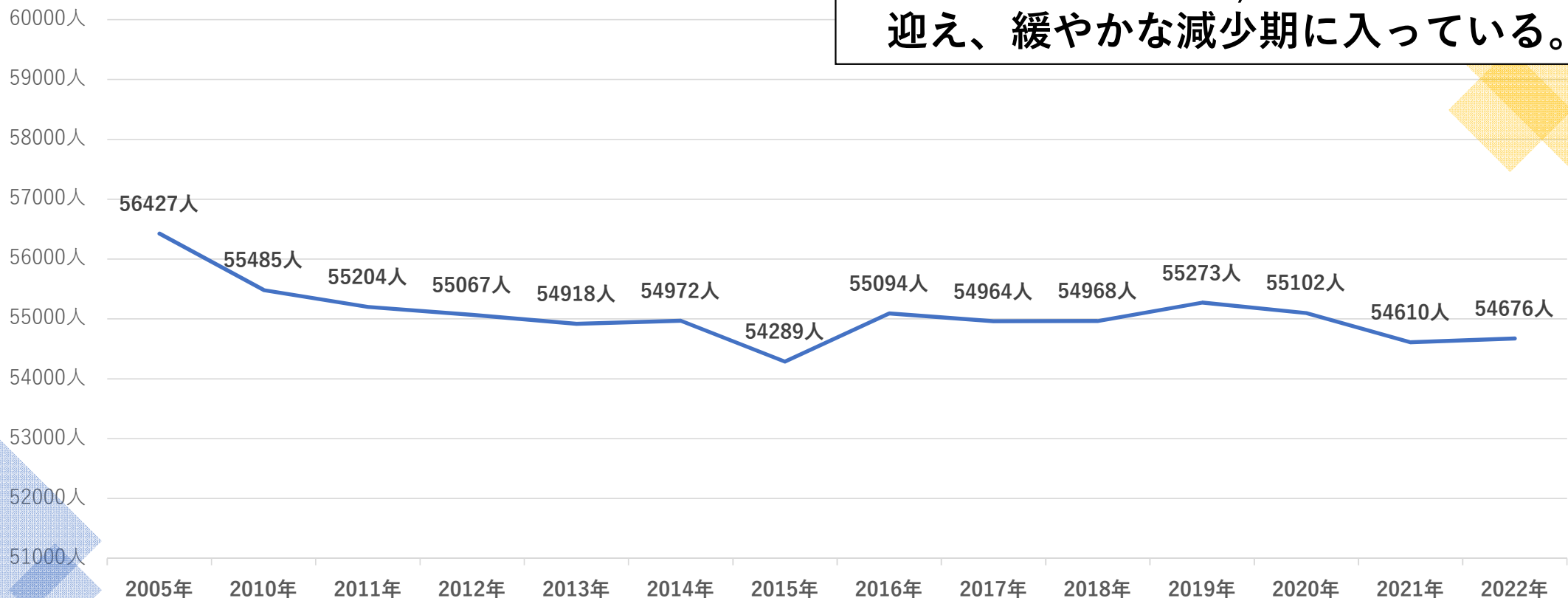
強み	弱み
<ul style="list-style-type: none">■ 自然に囲まれながらも、便利な生活を送ることができる■ 京都や大阪へのアクセスの良さ■ SDG s 未来都市に認定■ 県内最大の工業団地■ 国宝湖南三山や、国の天然記念物に認定されたうつくし松がある	<ul style="list-style-type: none">■ 車を所有していない人にとっては、交通の便が悪い■ 娯楽施設の少なさ■ 観光産業が弱い■ 若者離れが進行している■ <u>出生数が減少している</u>

子育てのしやすいまちづくりを実現し、
出生数の減少に歯止めをかける

01. 湖南省の現状分析

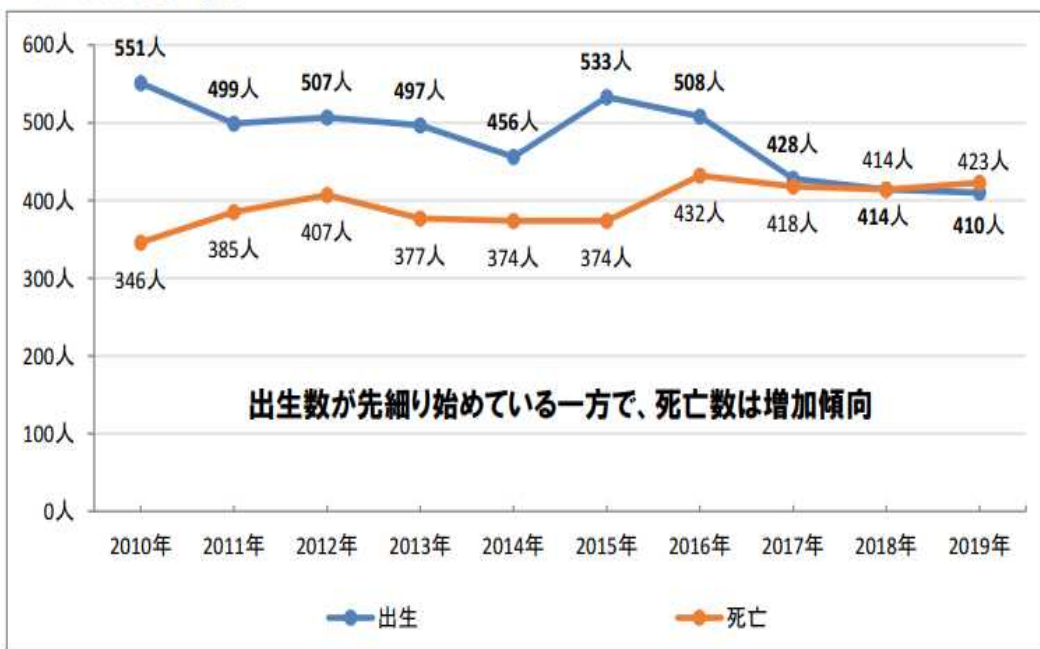
湖南省市の人口推移

• 総人口は2005年56,427人でピークを迎え、緩やかな減少期に入っている。



出生数と子育てのしやすさ

■図 自然動態の推移

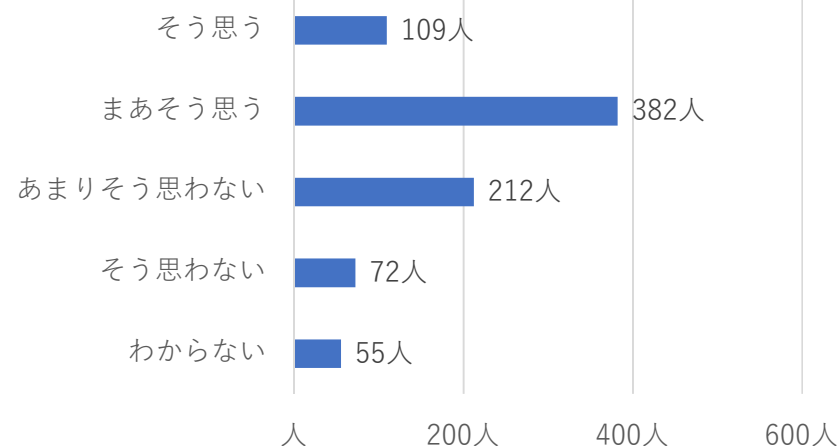


出典：湖南省統計資料

■ 湖南省は子育てしやすいと思いますか？

※調査対象：民営化を行った保育園・幼稚園・こども園を利用する保護者

総回答数：830人

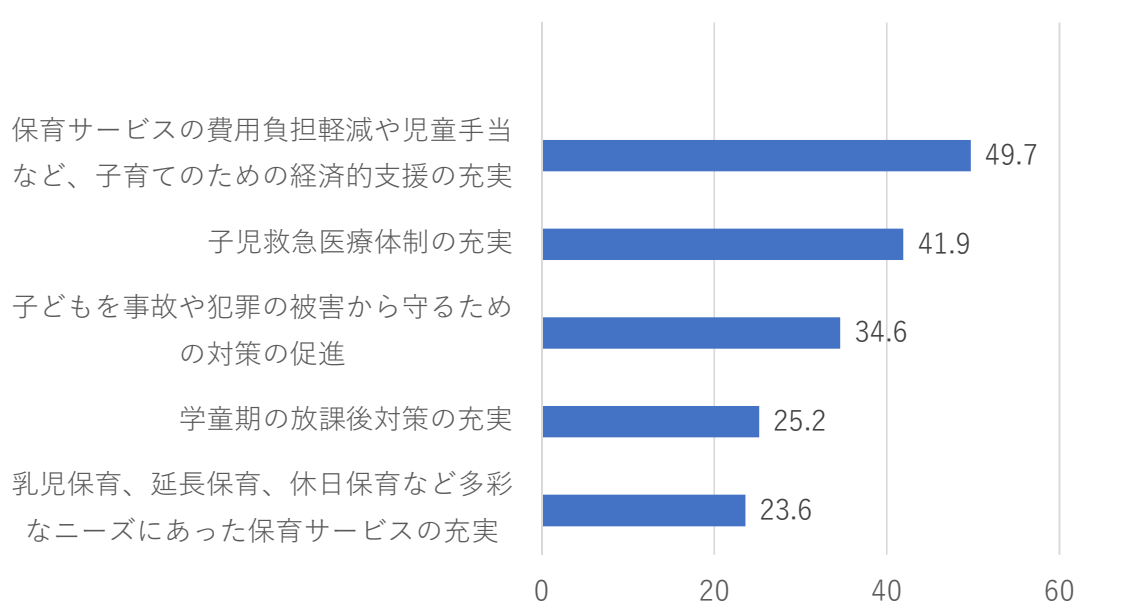


出典：第2回 湖南省子ども・子育て未来会議次第資料

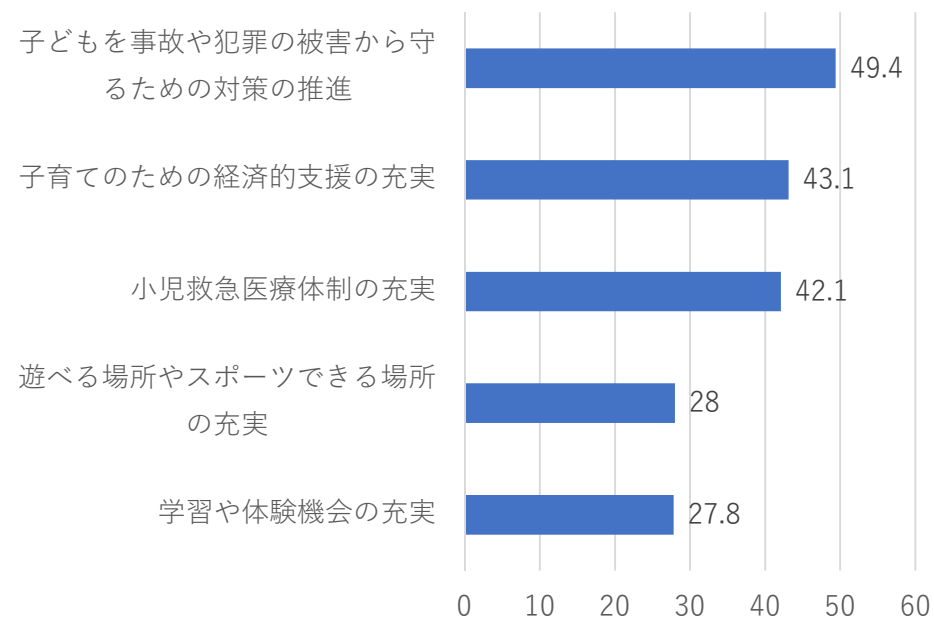
出生数が年々減少していることに加え、アンケートの結果「そう思わない」「あまりそう思わない」が、34.2%を占めている

子育て支援に求めるもの

就学前児童の保護者（878人）



小学生の保護者（439人）



出典：第二期湖南省人口ビジョン

湖南省の経済負担軽減の取り組み

- 各種手当での支給

(児童手当、児童扶養手当、特別児童扶養手当支給事業)

- 幼児教育・保育の無償化

- 奨学金給付制度

- 医療費の助成

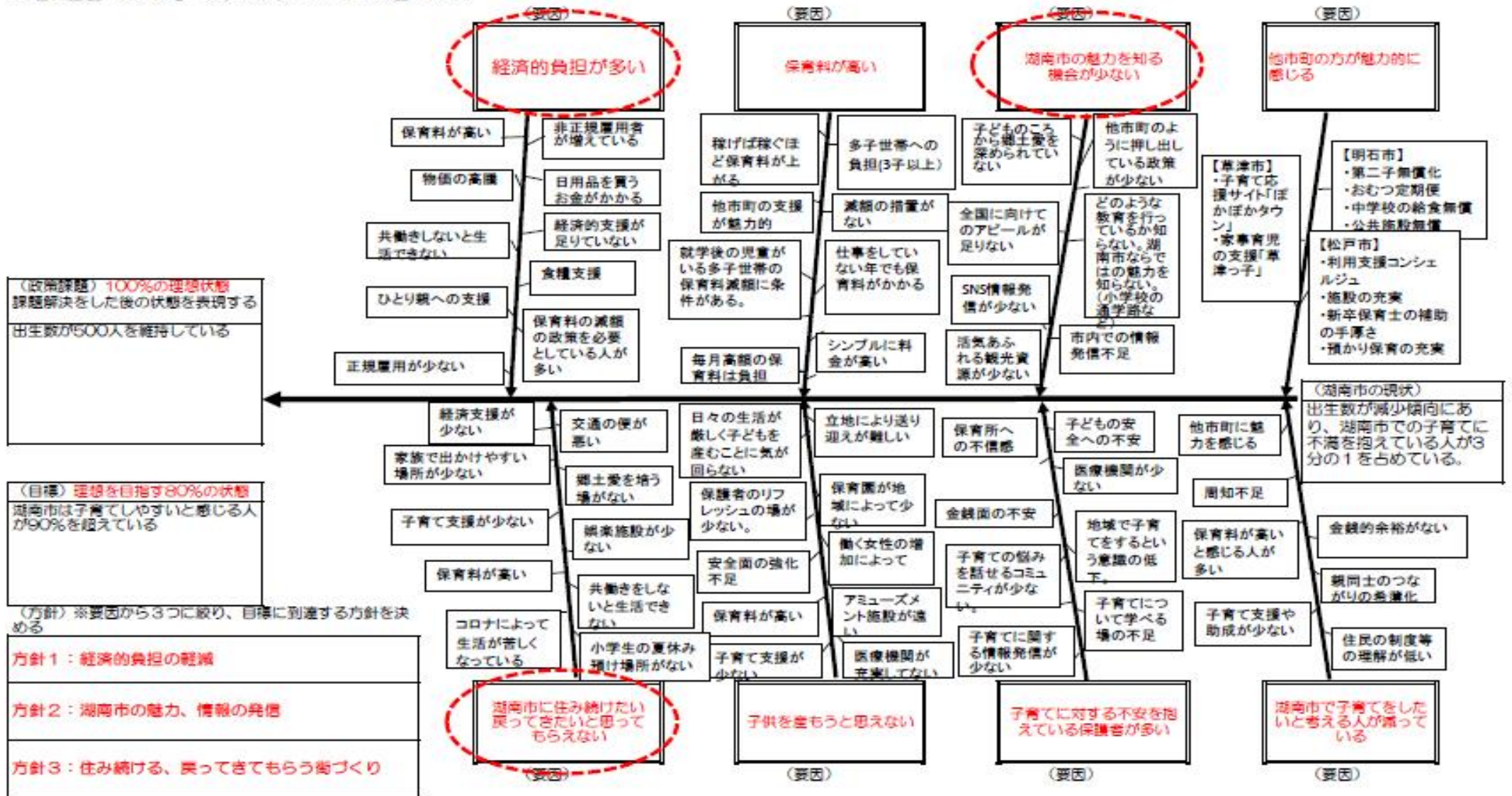
(乳幼児医療費助成事業、母子・父子家庭福祉医療費助成事業)

- 就園・就学助成

(幼稚園就園助成事業・小中学校児童生徒就学援助支援事業)

特性要因図「魚の骨」(現状が発生している原因・背景)

チーム名: ハンドシェイク (メンバー: 谷村、松宮、久保田、山田)



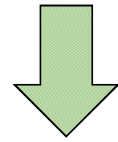
02. 湖南省の課題と目標

目指す方針

- ① 課題 ⇒ 子育てへの経済的負担が多い
 - 経済的負担を軽減する政策を打ち出す
- ② 課題 ⇒ 湖南省の魅力を知る機会が少ない
 - 湖南省の魅力や情報の発信に力を入れる
- ③ 課題 ⇒ 湖南省に住み続けたい、戻りたいと思わない
 - 住み続ける、戻ってきてもらうまちづくり

課題の解決に向けて

- 子育てをする世帯は「経済的支援」を求めている。
- しかし、経済的支援を行っても生まれた子どもが他市町に出て行き、戻ってこなければ出生数減少問題の解決には繋がらない



**生まれた子どもに郷土愛をはぐくむ場を提供
市外に出ても、子育てをするときに湖南省市に戻ってきて
もらう可能性を高める必要がある**

目標達成に向けて①

- ① 「湖南省は子育てしやすいか？」のアンケート等で「しやすい」の割合を **9割** に増やす。



- 保護者が子育てにおいて最も求めている 「経済的支援」 を行い、子育てへの不安を少しでも取り除くことで、子どもを産みたいと考えたときに安心して産めるまちづくりを実現する。

目標達成に向けて②

- ② 湖南省で生まれた子どもが、進学や就職のタイミングで他市町に転出して、いずれ戻ってきてもらえるよう、子どものうちから郷土愛をはぐくむ場を提供する



- 湖南省の中学生を対象にフィールドワークを実施
そこで湖南省の魅力や欠点、その欠点をよくするにはどうすべきか考え、湖南省の魅力を再確認することで郷土愛を培ってもらおう。また、自身もまちづくりのプレイヤーの1人であるという自覚を持ってもらう。

目指す目標

- ① 経済的支援を行い、「湖南省は子育てしやすいか？」のアンケート等で「しやすい」の割合の割合を増やす。
- ② 湖南省で生まれた子どもが、進学や就職のタイミングで他市町に転出しても、いずれ戻ってきてもらえるよう、子どものうちから郷土愛をはぐくむ場を提供する。



➤ 年々減少傾向にある出生率の減少に歯止めをかけ、2040年には500人を毎年維持できることを目指す。

目標達成により狙える効果

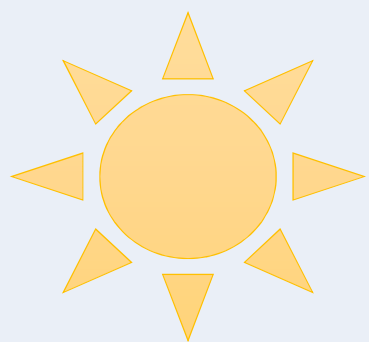
- 市内在住の子育て世帯が湖南省市で子育てをする上での、不満の軽減につながる
- 市外の子育て世帯が湖南省市の子育てに興味を持ってもらうきっかけになる
- 湖南省市が若さが溢れ、活気のある街になる



03. 政策提案

政策名

湖南省 子育て推進



プログラム

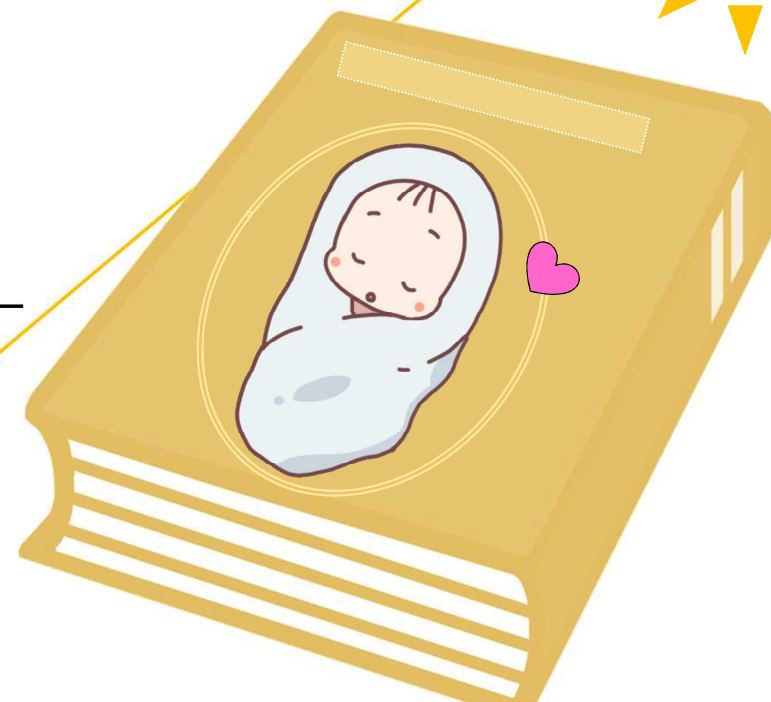
政策概要

- 名称 「**湖南省子育て推進プログラム**」
- 内容 「**子育て世帯に経済的支援を行い、その後生まれた子どもに郷土愛をはぐくむ場を提供し、その子どもに湖南省で子育てをしてもらえるようサイクルを作り出す。**」
- 対象 「**①新しく子どもが生まれた世帯 ②湖南省の中学校に通う学生**」
- 期間 「**3年を目安に実現を目指し、そこから永続し行う形式を目指す**」

政策形成 ～経済的支援～

- 名称 「～湖南省子育て応援ギフト～」
- 対象 「当年度4月1日～次年度3月31日までに
出生した児童がいる世帯」
- 内容 「5,000円を上限にカタログから
子育てに必要な商品を注文できる」

※ 出生後に住民登録を行い、一ヶ月に
満たないうちに市外へ転出する場合は
対象外になります



商品内容例

【衣】	【食】	【住】	【遊】
<ul style="list-style-type: none">➤ ベビーウェア・肌着➤ 授乳服➤ おむつ➤ 抱っこ紐➤ 幼児用エプロン➤ 子ども用靴➤ おしゃぶり➤ よだれかけ	<ul style="list-style-type: none">➤ 粉ミルク・液体ミルク➤ レトルト離乳食➤ 乳幼児用おやつ	<ul style="list-style-type: none">➤ タクシー回数券➤ ベビー石鹸➤ ベビー食器➤ 保湿液➤ おしりふき➤ 除菌シート等	<ul style="list-style-type: none">➤ 絵本➤ 積み木➤ 塗り絵

手続の流れ

① 窓口で申請書を提出する



② アプリ「こなんいろ」と連携
専用ページのIDとパスワード発行



③ ログイン後、マイページから
商品を注文する



④ 商品が登録した住所に届く

得られる効果

- 子育て世帯が最も必要としている「経済的支援」を行うことで、
湖南省への子育てに関する不満を削減させる
- 滋賀県でこのような政策を行っている市町村はない
→ 湖南省独自の政策としてPRすることができる
- カタログという形式を取ることは、世帯によって異なる子育てに
必要なものを幅広くカバーすることができる
- タクシー回数券をカタログに載せることで、湖南省の課題として
考えられる交通の不便さに対するアプローチが出来る

政策形成 ～郷土愛をはぐくむ～

- 名称 「**湖南省徹底研究！フォトコンテスト！**」
- 対象 「**湖南省の中学校に通う学生（中学二年生）**」
- 期間 「**1年に1度、2週間を目処に実施**」



「湖南省徹底研究！フォトコンテスト！」

内容

- ◆中学校の授業の中で実施し、クラスの中で班を作りフィールドワークを行う
- ◆湖南省の中学校で支給されているタブレットを用い、テーマに沿った写真を撮る
- ◆テーマは湖南省の魅力や自慢できる所、欠点など。魅力などについてはなぜそう思うかを、欠点についてはより良くするにはどうすれば良いかを考え、クラスで発表を行う
- ◆クラスで最も良かった発表は、湖南省の広報に掲載し、公共施設で展示を行い、子ども目線での湖南省の長所や短所を住民や市外の人にも知ってもらう機会を作る



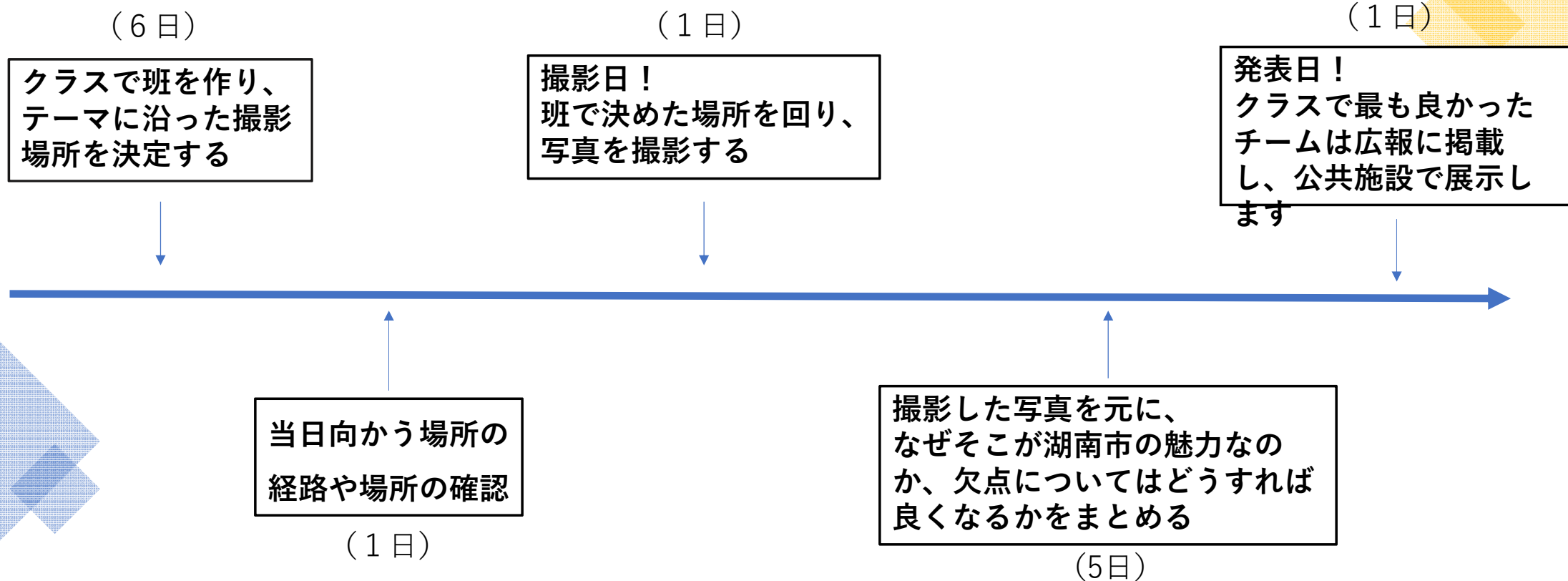
「湖南省徹底研究！フォトコンテスト！」

テーマ例	内容
湖南省のここが好き！	湖南省の好きな場所を撮影して、なぜそこが好きなのか考えてもらう
湖南省のここを自慢したい！	湖南省の自慢できるところを撮影して、なぜ自慢なのかかんがえてもらう
湖南省のここが惜しい！	湖南省の良くないところを撮影して、なぜ良くないのか、そこを良くするにはどうすれば良いのか考えてもらう

➤ ただ撮影して終わりではなく、なぜそう思うのか、もっと良くするにはどうすれば良いかを考え話し合うことで、より深く湖南省について知ってもらう。

「湖南省徹底研究！フォトコンテスト！」

政策の流れ (二週間を想定)



得られる効果

- 湖南省の魅力や課題を再確認し、自ら考えることで郷土愛をはぐくみ、就職や進学で市外に転出しても、子育てを考えたときに湖南省に戻ってきてもらえる可能性を高める
- 子ども目線での湖南省の現状を知ることが出来る
- 湖南省の課題を探し、改善策を考えることで学生自身が湖南省のまちづくりのプレイヤーの1人であるという認識を持ってもらう
- 現在、湖南省で行っている、湖南省SDGsカレッジの前段階という位置づけをし、参加者の増加につなげ、湖南省での若々しいまちづくり活動につなげる

まとめ

まとめ

- ◆ 子育てへのハードルを少しでも下げる
- ◆ 湖南省で子育てをするときに、子育て世帯が最も必要としている支援を提供している

「経済的支援」



「郷土愛を培うの提供」

- ◆ 育った子どもが市外に出ても、戻ってきてもらえる可能性を高める
- ◆ その子どもが子育てをするときに郷土愛があり安心できる湖南省を選んでもらえるようにする

➤ このサイクルを作り上げることで、15年後に「出生数500人を維持する」「アンケートで湖南省は子育てしやすい町 90%」の実現を目指す



～ご清聴ありがとうございました～